

あつぎ

# 農委だより

2020年  
1月1日  
第85号  
編集・発行  
厚木市農業委員会



厚木市農業委員会  
会長 堀池 春夫

あけましておめでとうございます。

ご家族おそろいで新年をお迎えのこと  
と、お喜び申し上げます。本年が皆さま  
にとって、輝かしい希望に満ちた年であ  
りますよう心から願っております。

さて昨年は、大型で勢力の強い台風が  
相次いで上陸し、農作物はもとより、国  
民生活に深刻な影響を及ぼしました。

また、農業者の高齢化、後継者不足な  
ど、農業を取り巻く環境は、依然として  
大変厳しい状況にございます。

こうした中、本農業委員会では、農業  
委員と農地利用最適化推進委員が一丸と  
なって、農地を守り、有効に活用するた  
め、取り組みを進めてまいりました。

その一つとして、利用されていない農  
地の情報をJAあつぎの各支所に掲示す  
る「農地情報みえる化プロジェクト」を  
スタートさせ、1・78軒の貸し付けにつ  
なげました。今後も農地の貸し手と借り  
手のマッチングに努めてまいります。

昨年10月には、委員の改選を行い、新  
体制となりました。引き続き、農業者の  
代表としての自覚と信念を持ち、農業経  
営のより一層の向上が図られるよう、取  
り組んでまいります。

農業者をはじめ、市民の皆さまのご理  
解とご協力をお願い申し上げます。

戸田の田園地帯から富士山を望む



# コートジボワールから 市農業を視察

国際協力機構（JICA）が実施している「コートジボワール国産米振興プロジェクト」の一環として、西アフリカのコートジボワール共和国の代表者5人が本市を訪れました。

コートジボワールは恵まれた自然環境により、高い農業生産のポテンシャルを有しています。が、多様な食用作物の中で米のみ輸入に依存しています。そこで、自国の米生産量を拡大



農業用機械について丁寧に説明する井上さん（左）



井上さんを囲むコートジボワールの代表者と関係者

させるため、日本を訪れました。昨年8月24日、温水の夢未市を視察した後、農業委員の井上謙治さん（70）のほ場を訪れ、水稲の栽培方法や保存、管理方法について、熱心に聞きました。井上さんは「これだけ熱心だところらもううれしくなる。言葉の壁はあるが、可能な限り伝えてあげたい」と語りました。

— 関連記事 — 本面左下「編集後記」

## 農地利用最適化意見・要望書を市長に提出

本農業委員会では、農業者の代表として、農業生産力の増大や農業従事者の地位向上のため、施策及び予算について、毎年、意見・要望書を市長に提出しています。

### 令和2年度新規要望

- ◎都市農業の推進のため、市独自の助成制度を実施すること
- ◎スクミリンゴガイ対策のさらなる強化を図ること
- ◎人に危害を与える可能性のある獣への対策を進めること

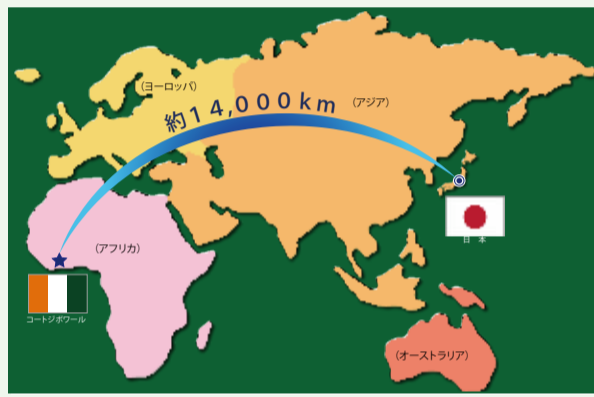
その他、合わせて23項目の意見・要望を行いました。



堀池会長から小林市長へ要望書が手渡される

国名：コートジボワール共和国  
 人口：2,507万人（2018年）  
 面積：322,436km<sup>2</sup>（日本の約9割）  
 首都：ヤムスクロ  
 言語：フランス語（公用語）  
 主な農産物：カカオ豆など（外務省HPより）

あゆむ回りにきいてみよう！



	推進
委員	の
活動	記録

本農業委員会では、毎月、農地利用最適化推進委員が中心となって、農地パトロールを実施しています。

昨年のパトロールの結果、16・92軒を長らく耕作されずに放置された農地（遊休農地）として、36・36軒を管理のみで作付けがされていない農地（肥培管理農地）として判断しました。この結果を農地利用の最適化に生かすため、遊休農地の所有者等に今後の意向を確認しています。これらの調査を基に、市都市農業支援センターや農地中間管

## 農業塾 生徒募集

JAあつぎ

将来のあつぎの農業を担う方を対象に研修講座を開講します。

### ◎新規就農コース

新たに市内で就農を目指している方を対象に実践的な講座とほ場実習を通して、新規就農者としての知識を学びます。

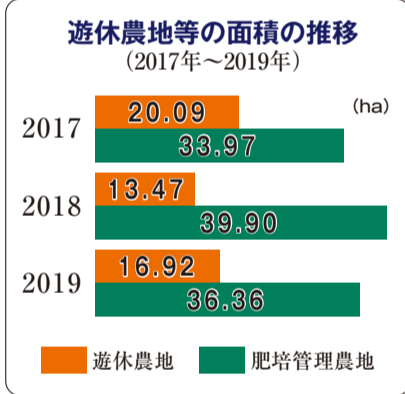
申1月14、15日にJAあつぎ本所に申込書と営農計画書を提出。面接審査があります。

### ◎基礎・応用コース

講座とほ場での栽培実習を通して、農業に関する基礎知識を学びます。

申2月3、4日にJAあつぎ本所に申込書を提出。

問 JAあつぎ指導販売部 地域農業対策課 ☎221-2273



マスコットキャラクター「つっちー」

◎調査の方法  
1月中旬から、調査員が調査対象候補世帯などを訪問し、聞き取り調査を行い、一定規模以上の農林業作業を行うなどの所定の条件を満たす場合に調査票を配布します。

◎調査事項  
過去1年間の作付面積、生産物の販売金額など。

問 市行政経営課 ☎225-2180

## 農林業センサスにご協力を

農林業センサス

2月1日を基準日として、2020年農林業センサスを実施します。一定規模以上の農林産物の生産または委託を受けて農林業作業を行う世帯等が対象となります。

## 国が支える 安心が大きくなる 担い手積立年金

- 1 農業に従事されている方は誰でも加入できます  
60歳未満の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く。）であって年齢60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。  
家族一人ひとりの年金を！ 今、女性の新規加入者が増えています
- 2 保険料は自分で選べ、いつでも見直してできます  
自分が必要とする年金額に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万～6万7千円の間で千円単位）、経費の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。
- 3 税制面で大きな優遇措置があります  
●支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります（支払った保険料の15%～30%程度が節税）。  
●農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益（保険料の運用益）は非課税です。  
●将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。  
（65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までの場合は、全額控除できます。）  
つまり入口から出口まで税制上の優遇措置があります

詳しくは… 農業者年金基金 検索 <https://www.nounen.go.jp/>

## 全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

毎週金曜日発行

月700円（送料込）

お申し込みは 農業委員会事務局へ

編集手記  
井上謙治農業委員

コートジボワールでは、収穫した作物を置くためのブルーシートさえ買えない農家が多くいると聞きました。そんな苦境の中、自国産米を主食にしたいという強い思いから、水路や農業機械などについて、驚くほど熱心に聞いていかれました。国の食を変えたいというのは、大きな事業です。そうしたことに少しでも関わられたことを光栄に思っています。



# 女性農業者 松本 スミ子さん(81)

恩名3丁目にお住まいの松本スミ子さんは、みそなど数種類の加工品を直売所で売っています。毎日のように出品される松本さんの加工品には、固定のファンがついているそうです。

ある晴れた日の朝、JAあつぎ南毛利支所の農産物直売所では、開店を待つお客さんでにぎわっていました。その中には、松本さんの作る加工品を目当てに来た人もいました。



自慢の味を召し上がれ

高齢となり、つらくなってきた農作業も、お客さんの「おいしい」という声を励みに続けていけると言います。現在、約60坪の農地を耕作し

# 新規就農者 長谷川 拓海さん(22)

平成30年4月に就農した長谷川拓海さんは、荻野地区で1・37畝の農地を耕作しています。中学生時代は部活動で野菜の栽培をしていました。苦労して作ったものを収穫した時の達成感と、それを食べてもらって喜ばれたことにやりがいを感じ、農業をやりたいと思うようになったといいます。

農業高校から農業短期大学に進み、さらに農業アカデミーの実践的な研修の中で経験を積みました。その後、農地の貸し借りや補助金の申請など、さまざまな就農相談にワンストップで対応する市都市農業支援センターに相談し、荻野地区で就農

しました。

現在は、ネギを中心にサトイモ、キャベツ、ダイコンなどを生産しています。また、農地の有効利用を促進するため、平成27年から開始した市の耕作放棄地再生利用事業にも参加をしました。他の新規就農者と協力しながら、上荻野で大豆と麦の生産にも取り組んでいます。

1年目はさまざまなお悩みがあり、不安の中、農業に取り組んで来たといいます。2年目を迎えた今年は、昨年の反省を生かしながら、作付作目を増やしてきました。学校給食用の野菜も



ネギの収穫を待つ

# DO MY 農業

農業との付き合い方は人それぞれです。探してみましよう、MY農業——。

# 法人飯山パイロットファーム 飯山地区で38年

小鮎川が静かに流れる飯山の田園地帯で、農事組合法人飯山パイロットファームの皆さんが活動しています。同法人は、飯山に位置する作業所を中心とした約14畝の農地を3人で耕作しています。昨年の10月初旬、作業所では、

収穫した稲の乾燥と籾摺りに追われていました。作業は連携がとれていて、それぞれの動きに無駄がありません。地域の農業者が協力すること、農業の生産性と所得を向上させることを目的に、同法人は創設されました。この地で農業を営んで38年になります。

現在、代表理事を務める岩崎廣之さん(74)は、法人の立ち上げから携わってきました。初めは3畝程度だった農地は、高齢で農業ができなくなった人などから農地を借り受け、徐々に経営規模を拡大してきました。「経営は決して楽とは言えませ



米の袋詰め作業

ん。しかし、思いのあるこの地で、できる限り農業を続けていきたい」と思いを語りました。



思いを語る岩崎さん

# 地域で協働して 柵沢地区の 3本の矢

5年前、地区の水利組合の座談会で「年をとったからもう耕作はできない」という声が多くあがりました。それなら耕作できる人で力を合わせよう——。同じ思いを共有する山口進さん(82)、柏木孝さん(67)、柏木孝昭さん(61)の3人は、協力して農業を行うことにしました。

当地区でも住宅造成が進み、稲の乾燥や籾摺りなどの騒音が問題になっています。そのため、影響のない場所へ倉庫を移しました。そこを拠点に約3畝の水稲を栽培しています。孝さんは「プロッコーリやキャベツなど、水稲以外の作物も作っていきたい」と言います。それを聞いていた山口さんは「農業従事者が減っていく中で、この先の農業の話ができるのは、1人ではなく、3人の力があるからだ」と笑みを浮かべました。

毛利元就の逸話にあるように、1本では簡単に折れてしまう矢も、束ねれば簡単に折れません。力を合

わせ農業を行う3人には、そんな強さを感じます。



農作業などについて意見を交わす孝さん(左)と孝昭さん



笑顔を見せる山口さん



# 私たちが新しい**農業委員**と**推進委員**です

令和元年10月17日に就任した新たな農業委員と農地利用最適化推進委員を紹介します。  
農地や農業に関する相談など、お気軽に声を掛けてください。

<任期>令和元年10月17日から令和4年10月16日まで

※農業委員は  緑色(50音順)、推進委員は  オレンジ色(地区順)で区分しています。

氏名(役職)	担当地区	氏名(役職)	担当地区	氏名(役職)	担当地区	氏名(役職)	担当地区						
 住所(大字) ☎電話番号 メッセージ	いしかわ かずのり 市川 和典	いのうえ けんじ 井上 謙治(農地担当理事)	うめざわ きよこ 梅澤 清子	おざわ たかし 小澤 隆	しんどう えつこ 新藤 悦子	なんば ひろふみ 難波 博文	のぐち まさお 野口 政夫						
	飯山 ☎241-6247 遊休農地・耕作放棄地の解消を図り、厚木市の農地保全と農業振興に努めます。		上依知 ☎245-0950 地域との交流を図り、農業の発展と振興に努めます。		山際 ☎245-0047 食の安心安全から農業の大切さを発信し、地域農業の振興に努めます。		三田 ☎242-6546 地域との交流を図り、遊休農地の解消と発生防止に努めます。		恩名1丁目 ☎221-6669 荒れた田畑の解消と若い方が農業に携われるように他の委員と共に取り組みます。		下萩野 ☎241-1355 農地利用の最適化を推進し、夢ある都市農業の振興に努めます。		下萩野 ☎241-2018 遊休農地の解消と農地の有効利用を推進し、都市農業の発展に努めます。
はやかわ さとる 早川 曉(会長職務代理者)	ほりいけ はるお 堀池 春夫(会長)	まつの まさる 松野 勝	まつまえ すずむ 松前 進(農地副担当理事)		愛甲東3丁目 ☎228-6528 増加するであろう耕作できない農地に対処していきます。		岡田4丁目 ☎228-1238 優良農地や担い手を確保し、農業の発展と振興に努めます。		下川入 ☎245-0366 美しい田畑を将来に渡って残すため、尽力してまいります。		飯山 ☎241-5914 遊休農地を徐々に減らし、厚木の都市農業の将来をともに考えていきましょう。		
みつはし すみお 三橋 澄夫(農政担当理事)	やまかわ ひろし 山川 宏司(農政副担当理事)	くすのき よしふみ 楠 好文 依知	なかもる ゆたか 中丸 豊 依知		小野 ☎248-0267 地産地消を進めて都市農業の振興を図り、遊休農地の解消に努めます。		飯山 ☎291-1500 高齢化等による荒廃地の低減に向けて取り組んでいきます。		関口 ☎245-1334 都市農業の存続を図るため、農業委員および推進委員と知恵を出し合っていきます。		山際 ☎245-5656 遊休農地の低減や農地の利用推進活動を行います。		
いしかわ ひでお 市川 秀夫 睦合	すずき よしひろ 鈴木 好弘 睦合	いしい としみ 石井 敏美 荻野	みひら さだくに 三平 定邦 荻野		下川入 ☎245-1004 農地利用の最適化を推進し、農地の保全と都市農業の振興に努めます。		林3丁目 ☎222-2253 農地の保全および遊休農地の解消に努めてまいります。		中萩野 ☎241-2050 農地の有効利用と保全に努めます。		上萩野 ☎241-2052 中山間地特有の生産に不利な状況の中、遊休農地解消に努めます。		
ながしま まさお 永島 優男 小鮎	もりずみ つとむ 森住 勉 小鮎	かんざき こういち 神崎 浩一 南毛利	すぎざき かずひこ 杉寄 一彦 南毛利		上古沢 ☎248-2878 耕作放棄地解消のために、一人でも多くの農業者と向き合っていきます。		飯山 ☎241-3562 遊休農地の有効利用ができるように若い後継者育成に努力します。		温水 ☎247-4306 農地利用の最適化を推進できるよう努めます。		温水西2丁目 ☎248-4791 地域の人と農地の現況・将来について考え、農地の有効利用に努めます。		
かとう かずほ 加藤 和穂 玉川	みつはし てるお 三橋 光雄 玉川	いけや えいち 池谷 栄一 厚木相川	わだ さだみち 和田 定通 厚木相川		七沢 ☎248-0748 高齢化や獣害による遊休農地を解消し、農地の有効活用の推進に努めます。		小野 ☎248-0413 地域の現状を把握して、農地の有効活用に努めます。		酒井 ☎228-6670 農地利用の最適化を通じて、農地の保全に努めます。		戸田 ☎228-0662 農地利用最適化推進委員として、遊休農地の解消に努めます。		